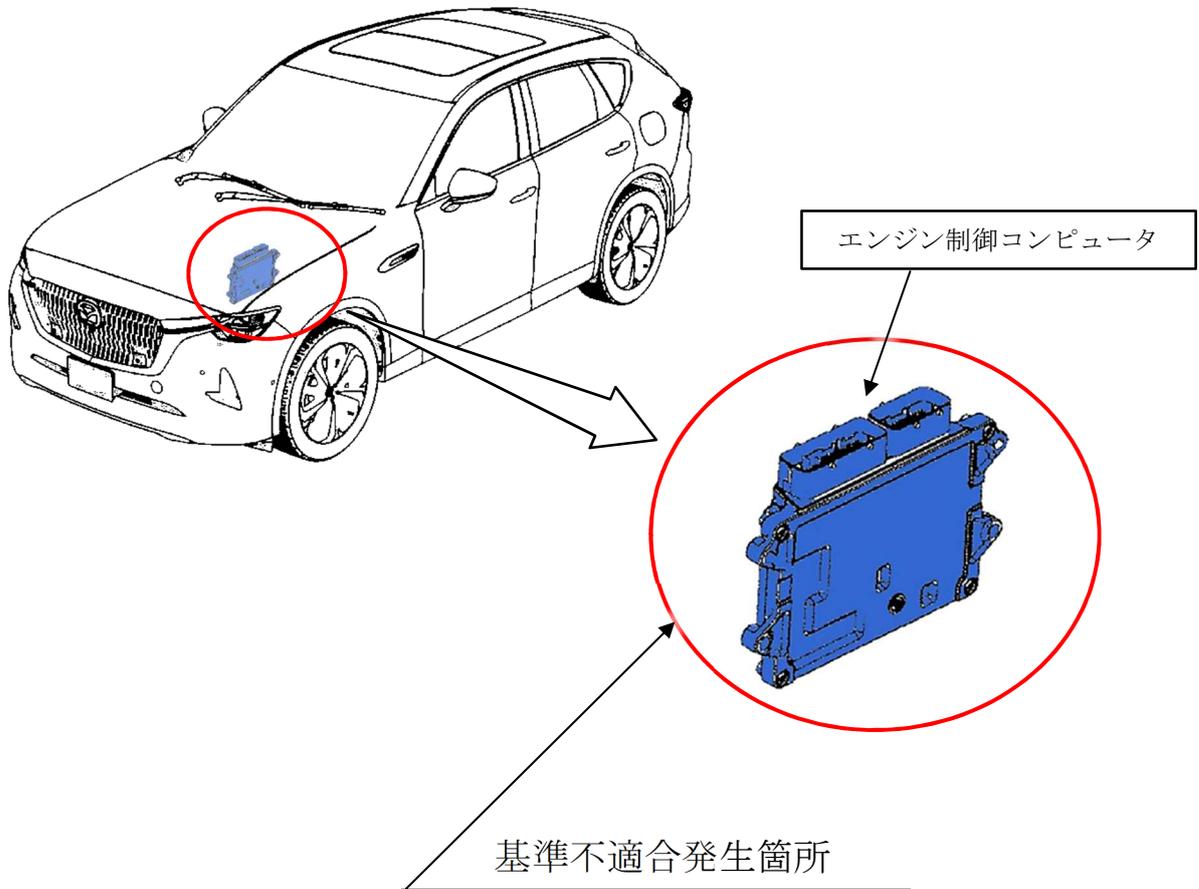


改善箇所説明図②



エンジン制御コンピュータにおいて、故障判定する条件が不適切なため、アイドリングストップによりエンジンが停止する際、アクセル操作等でエンジン停止が中断されると、一時的に、燃料噴射気筒を正しく判定できなくなることがある。そのため、その時に故障として誤判定することで、燃料噴射を禁止し、燃料噴射気筒を正しく判定するまで燃料が噴射できず、走行中の場合は車両が減速し、停車中の場合はエンジンが再始動できないおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン制御コンピュータの制御プログラムを対策プログラムに修正する。

識別：右リヤドア・ロアヒンジ取付けボルト(上側)の頭に黄ペンを塗布する。

注) は、プログラムを修正する部品を示す。